

2019~20 年度
国際ロータリーのテーマ



東京赤坂ロータリークラブ週報
Weekly Report

2019~2020 年度クラブテーマ
会長 土屋 東一

東京赤坂ロータリークラブ
NO. 1523 / 2020. 02. 07
例会/ANA インターコンチネンタルホテル東京
Tel 03-3505-1111
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂 2-19-8
赤坂 2 丁目アネックス 3F
Tel 03-3505-5976
Fax 03-3505-6004
<http://www.akasakarotary.com/>

「協働 親睦 奉仕」

● 本日の例会 2020 年 2 月 7 日 通算 1558 回 本年度 第 28 回

卓話：「オーナー社長の事業承継と民法改正のポイント」中小企業診断士 小松 豊 氏

● 第 1557 回 例会報告／2020 年 1 月 31 日

出席報告：会員 48 名 / 出席 30 名 欠席 18 名

ゲスト：関野雄志（卓話）、仲宗根寛樹

出川千恵子

ビジター：廣田康人（大阪 RC）、松尾哲吾（福岡 RC）
計 5 名（順不同・敬称略）

卓話：「2020 後の日本の地価はどうなるか」

株式会社セルゲートジャパン

代表取締役 関野 雄志 氏



紹介者
卓話者
.. 関野雄志氏(右)
河邊会員(左)

IM 委員会：（浅沼委員）

3/18(水)16:00～19:30 交詢社にて千代田グループのインテリシティミーティングを開催いたします。パネラーとして河邊会員が登壇いたします。登録料 8,000 円は個人負担となります。よろしくお願い申し上げます。

西澤会員：

2/18(火)18:30～TERRE MER にてグレイスワインとペアリングディナーを愉しむ会が開催されます。元会員の羅さんと日興証券の清水社長の主催です。ご希望の方は西澤までご連絡ください。



出川会員（左）と
奥様の千恵子様（右）

今 後 の 予 定	日付	開始時間 終了時間	場所	事項	内 容
	2 月 14 日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：「寿命とがん～がん治療の進歩はヒトの寿命を延ばしているか～」 国立がん研究センター病院長 西田 俊朗 氏
	2 月 21 日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：株式会社アドスコープ 代表取締役 松川 洋平 氏
	2 月 25 日 (火)	地区大会 13:00～		場所：グランドプリンスホテル新高輪 国際館パミール	
	2 月 28 日	休 会		（地区大会振替）	
	2 月 29 日 3 月 1 日	親睦旅行		集合場所：熱海後楽園ホテル	
	3 月 6 日	12:30 13:30	37F アリエス ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：アルメニア大使 グラントボゴシャン 氏
	3 月 13 日	12:30 13:30	B1 オーロラ ANA インターコンチネンタルホテル東京	例 会	卓話：一般社団法人東友会 村田 未知子 氏
	3 月 15 日	ファミリーデイ		： サンシャイン水族館	

次期 RI 会長ホルガー・クナーク氏が 2020-21 年度会長テーマを発表 テーマ：「ロータリーは機会の扉を開く」

国際ロータリー会長エレクトであるホルガー・クナーク氏（ドイツ、ヘルツォークトゥム・ラウエンブルク・メルン・ロータリークラブ所属）が、1月 20 日、サンディエゴ（米国カリフォルニア州）で開催中の国際協議会で講演し、人生や地域社会を豊かにするためにロータリーが与える機会をとらえるよう呼びかけました。

クナーク会長エレクトは、次期地区ガバナーに向けて 2020-21 年度会長テーマ「ロータリーは機会の扉を開く」を発表。ロータリーとは、クラブに入会するというだけでなく、「無限の機会への招待」であるとクナーク氏は述べました。



7月 1 日に会長に就任するクナーク氏は、奉仕プロジェクトを通じて会員自身や受益者の人生をより豊かにするための道を開くのがロータリーであると力説しました。



「奉仕の行いは、その大小にかかわらず、助けを必要とする人たちのために機会を生みだすものであると、私たちは信じている」とクナーク氏。また、ロータリーはリーダーシップの機会、奉仕のアイデアを実行に移すために世界を旅する機会、そして生涯続く友情の絆を築く機会を与えてくれる、クナーク氏は述べます。「私たちのあらゆる活動が、どこかで、誰かのために機会の扉を開いています」

未来のための変革

クナーク氏はさらに、ロータリーの発展のために変革を受け入れるよう会員に強く促しました。会員数を増やすために数字にこだわるのではなく、持続可能かつ有機的なかたちで成長できる方法を考えるよう求め、現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募ることにクラブが注力すべきであると述べました。

「新会員を会員数を増やす人員であるかのように考え、やがて忘れてしまうというのは止める必要があります」と述べたクナーク氏。「どの新会員も、私たちを少しだけ変えてくれます。新しい視野と経験をもたらしてくれます。このような絶え間ない変化を受け入れる必要があります。新会員から学ぶことで、私たちはより強くなります」

ロータリーの行動計画はクラブの進化を導く羅針盤であると指摘したクナーク氏は、全クラブが少なくとも年1回、戦略計画会議を開くことを勧めました。この会議で、5年後にどのようなクラブになりたいかを自問し、クラブが会員により多くの価値をもたらす方法を考えるべきであると話します。

クナーク氏はまた、リーダー職にもっと多くの女性が就くこと、クラブの結成と運営にローターアクターが不可欠な役割を果たすこと、ロータリー会員であることの意味を考え直すこと、若い人たちに新クラブの設計者になってもらうことを提唱しました。

「新しいアプローチに心を開かなくてはなりません。若い人たちのためにユニークな新クラブをつくることは、解決策の一部にすぎません」とクナーク会長エレクト。「自分たちに一番合うロータリーの体験はどのようなものかを、ローターアクターたち自らに決めてもらおうではありませんか。新クラブの設計者は、若い人たちであるべきです」

ロータリー会員が変化を受け入れることの必要性を強調した上で、「時間は私たちのためにスローダウンしてくれない」とクナーク氏は訴えます。「私たちは急速な変化に負けません。この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」

「この機会をとらえてロータリーを成長させ、より強く、適応力を高め、中核的価値観により沿ったロータリーとなるのです」

2月 ピアノ演奏曲

- 桑田佳祐：「いとしのエリー」
さだまさし：「北の国から」
井上陽水：「少年時代」 他
懐かしいポップスからお届けします。
ピアニスト 泉 晶子 氏

国際ロータリー会長エレクト ホルガー・クナーク
(国際ロータリー：<https://rotary.org/>より)



1月 31日 件 21,000 円 累計 733,500 円
多額の寄付を有難うございました。(敬称略)

藤井宏章/岩上義明/石井謙次/西澤民夫/小林博茂/
河邊幸夫/穂苅裕久/藤井万博/出川敬司/谷口友保